

産地及び都道府県の点検・認証の状況

GAPの導入産地における点検方法については、「自己点検のみ」が導入産地の51%を占め最も多く、次いで、産地の責任者等による「内部監査」(37%)、「取引先による点検」(10%)、「第3者による点検」(8%)。また、独自にGAPを策定している30都道府県のうち、3県で認証の仕組み。

GAP導入産地における点検状況

全体の産地数(1)		うちGAP導入産地数				
		点検方法別の内訳(2)				
		自己点検のみ	内部監査	2者点検	3者点検	その他(3)
4,479	1,572 (100%)	800 (51%)	588 (37%)	153 (10%)	126 (8%)	122 (8%)

- 農林水産省生産局技術普及課調べ(平成21年3月末時点)
- 1 産地数は産地強化計画等を作成している産地の数
- 2 点検方法のうち内部監査、2者点検、3者点検の実施産地には、重複も含む。
- 3 その他は、調査時点で点検方法を定めていない産地の数

都道府県におけるGAPの認証の状況

GAPを独自に定めている30都道府県のうち次の3県で認証を実施

県名	認証制度の名称	創設年度	対象農産物()	認証機関	認証の状況
静岡県	しづおか農水産物認証制度	平成18年度	農産物全般	静岡県	21団体・個人 (平成21年12月時点)
島根県	安全でおいしい島根の県産品認証制度	平成20年度	農産物全般	島根県	10団体・個人 (平成21年12月時点)
鹿児島県	かごしまの農林水産物認証制度	平成16年度	米、野菜、果樹、茶	(社)鹿児島県農業・農村振興協会	81団体・個人 (平成21年10月時点)

- 農林水産省生産局技術普及課調べ(平成22年1月)
- 上記の3県では、農産物以外の品目(畜産物、林産物又は水産物)についても認証を実施